大阪市立高倉中学校　平成２９年度　運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1　学校運営の中期目標

現状と課題

学力の向上において、平成２８年度全国学力・学習状況調査の結果で国語・数学・理科において平均正答率が大阪府平均を下回った。また英語では、大阪市英語力調査でも前年度よりもスコアが下回った。

昨年度より、本校では教育課程の編成として、国語・数学科・英語において、文部科学省の標準時数より授業時数をさらに拡充し、学力向上に向けて取り組んでいる。

さらに、図書館利用の拡充、図書の充実を通し、本や資料、新聞等の文章を自主的に選んで読む習慣をつけさせていくため、図書館補助員制度も活用し、図書館の整備をすすめ、生徒の図書館の活用を改善する。また、全教職員が今後も授業改善・教材研究に努め、学力向上に向けて取り組んでいくよう、あわせておこなう。

また家庭学習習慣の確立に向け、生徒の意識高揚と意義の確認及び保護者の意識啓発に努め、両者一体の指導を推進し、学力向上に向けて取り組んでいく。そして家庭で、学校の宿題をする習慣が定着されつつあることもあり、各教科でさらに家庭学習用の課題を精選し、放課後の図書館開館や学校元気アップコーディネーターの活用と連携を図り、家庭学習時間の増加に努める。

中期目標

【子供が安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○平成３３年度の全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を、９０％以上にする。

○平成３３年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない)」と答えた生徒の割合を、１５％以下にする。

○平成２９年度保護者アンケートにおける「学校に関する情報が得やすい」と答える保護者の割合を、７５％以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成３３年度の全国学力・学習状況調査における知識に関する問題（A問題）の平均正答率を、大阪府平均以上にする。

○平成３３年度の全国学力・学習状況調査における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目において、「している（どちらかといえば、している)」と答える生徒の割合を、大阪府平均以上にする。

○平成２９年度保護者・生徒アンケートにおける「生徒会活動や委員会活動・係活動に積極的に取り組んでいる」と答える保護者・生徒の割合を、平成２９年度からの３年間、７０％以上にする。

○平成３３年度の全国体力・運動能力・運動習慣の調査における各種目や合計得点を、大阪府平均以上にする。

２　中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子供が安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

○平成２９年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を９５％以上にする。
○平成２９年度末の校内調査において、「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を、９０％以上にする。
○平成２９年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
○平成２９年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

○平成２９年度の生徒・保護者アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を９０％以上にする。
○平成２９年度生徒・保護者アンケートにおける「生徒会活動や委員会活動・係活動に積極的に取り組んでいる」と答える保護者・生徒の割合を７０％以上にする。
○平成２９年度保護者のアンケートにおける「学校に関する情報が得やすい」と答える保護者の割合を７５％以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○平成２９年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。
○平成２９年度の中学校チャレンジテストにおける正答率２割以下の生徒を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より２ポイント減少させる。
○平成２９年度の中学校チャレンジテストにおける正答率８割以上の生徒を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より２ポイント増加させる。
○平成２９年度の行内調査委における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。
○平成２９年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である「握力」の平均の記録を、前年度より２ポイント向上させる。

学校園の年度目標

○平成２９年度「全国学力・学習状況調査」「大阪府チャレンジテスト」の結果で、平均正答率が大阪府平均を上回る結果にする。
○平成２９年度生徒アンケートで、「毎日の家庭学習が習慣になっている」と答える生徒の割合を７０％にする。
○平成２９年度全国体力・運動能力、運動習慣調査における各種目や合計得点を大阪府平均より向上させる。

3　本年度の自己評価結果の総括

大阪市立高倉中学校　平成２９年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子供が安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 全市共通目標（小・中学校） ○平成２９年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を、９５％以上にする。 ○平成２９年度の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を、前年度より減少させる。 学校園の年度目標 ○平成２９年度保護者のアンケートにおける「学校に関する情報が得やすい」と答える保護者の割合を７５％以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策１：安全で安心できる学校、教育環境の実現】 定期的なアンケート調査を行い、問題行動の早期発見に努める。自他の尊厳を認め合い、好ましい人間関係、信頼関係、集団作りにつとめ、いじめ・不登校を減らす。（カリキュラム改革関連）	
指標：年間３回以上のアンケート調査に取り組み、問題解決を図る。	
取組内容②【施策２：道徳心・社会性の育成】 情操教育を通して自尊感情を高めていくよう、計画的な取り組みを推進し、道徳教育の充実を図る。（カリキュラム改革関連）	
指標：取組後のアンケートや作文、生徒・保護者アンケートで検証。	
取組内容③【施策３：地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 月１回学校通信「たかちゅう」の発行、部活動通信の発行に加え、「校長室だより」の発行をする。また、ホームページの定期的な更新を実施し、家庭・地域に向けた情報発信を推進していく。（ガバナンス改革関連）	
指標：生徒・保護者・学校関係者アンケートの結果。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立高倉中学校　平成２９年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した　　B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった　D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子供が安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 全市共通目標（小・中学校） ○平成２９年度末の校内調査において、「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を９０％以上にする。 ○平成２９年度の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。 学校園の年度目標 ○平成２９年度の生徒・保護者アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を９０％以上にする。 ○平成２９年度生徒・保護者アンケートにおける「生徒会活動や委員会活動・係活動に積極的に取り組んでいる」と答える保護者・生徒の割合を７０％以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策１：安全で安心できる学校、教育環境の実現】 基本的生活習慣の確立に向け、遅刻指導を徹底する。全校集会・学年集会の始まり、授業の始まりを自覚させ、ルールを守る意識を高める。　（カリキュラム改革関連）	
指標：学期ごとに遅刻・服装等の調査に取り組み、学年集会での全体指導を行う。	
取組内容②【施策８：施策を実現するための仕組みの推進】 校区内小学校と連携し、教育目標を共有し、小中一貫した自尊感情・規範意識の醸成に向けた取り組みを行う。　（カリキュラム改革関連）	
指標：取り組み後のアンケートや作文、生徒・保護者アンケートで検証。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立高倉中学校　平成２９年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した　　B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった　D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標（小・中学校） ○平成２９年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。 ○平成２９年度の中学校チャレンジテストにおける正答率２割以下の生徒を、同一の母体集団で比較し、いずれの学年も前年度より２ポイント減少させる。 ○平成２９年度の中学校チャレンジテストにおける正答率８割以上の生徒を、同一の母体集団で比較し、いずれの学年も前年度より２ポイント増加させる。 学校園の年度目標 ○平成２９年度「全国学力・学習状況調査」「大阪府チャレンジテスト」の結果で、平均正答率が大阪府平均を上回る結果にする。 ○平成２９年度生徒アンケートで、「毎日の家庭学習が習慣になっている」と答える生徒の割合を７０％以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策５：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 習熟度別少人数授業について、実施計画に基づき、国語科・数学科・英語科において、基礎・基本的学力の定着に向けた学習活動に取り組む。　(カリキュラム改革関連)	
指標：全国学力・学習状況調査、大阪府チャレンジテストの結果。	
取組内容②【施策５：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 自主学習支援のため、各教科の学習活動の中に家庭学習課題を計画的に導入し、学習習慣の確立に取り組む。　(カリキュラム改革関連)	
指標：全国学力・学習状況調査、保護者・生徒アンケートの結果。	
取組内容③【施策８：教職員の資質向上と能力発揮】 「学び続ける教員サポート事業」「0JT 事業」を活用し、年間計画に基づいた研修、研究授業を実施し、教員の授業力・指導力の向上を図る。 (マネジメント改革関連)(学校サポート改革関連)	
指標：研究授業・研鑽の回数や保護者・生徒アンケートの結果。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立高倉中学校　平成２９年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標（小・中学校） ○平成２９年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 学校園の年度目標 ○平成２９年度の生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を７０％以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策５：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 アクティブラーニングの推進、ICT 機器の活用、放課後の学習支援など、やる気を向上させる取り組みと自尊感情の高揚を図り、プレゼンテーション能力を養う。 （カリキュラム改革関連）	
指標：プロジェクターやタブレットなどの活用を増やし、主体的・対話的な深い学びを推進する。	
取組内容②【施策６：国際社会において生き抜く力の育成】 班行動により大阪市内を調査・見学して調べ学習を行い、「郷土おおさか」を愛する心を育てるとともに、学級や学年でプレゼンテーションを行う。 （カリキュラム改革関連）	
指標：事後学習発表の成果やアンケートなどで検証を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立高倉中学校　平成２９年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標（小・中学校） ○平成２９年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である「握力」の平均の記録を、前年度より２ポイント向上させる。 学校園の年度目標 ○平成２９年度全国体力・運動能力、運動習慣調査における各種目や合計得点を大阪府平均より向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策７：健康や体力を保持増進する力の育成】 保健体育の授業時にトレーニングメニューとして行う補強運動の種類や回数を精選し、レベルにあった運動を取り入れる。　（カリキュラム改革関連）	
指標：全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果。	
取組内容②【施策７：健康や体力を保持増進する力の育成】 「食育つうしん」の発行やあらゆる教育活動を通じて、食育を推進し、保護者・生徒の「食」への意識を高める。　（カバナンス改革関連）（学校サポート改革関連）	
指標：生徒・保護者・学校関係者アンケートの結果。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点